

第2号様式(第6条関係)

令和7年4月15日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙(単独、団体協働事業補助)

(宛先)

戸田市長

団体名 戸田マルシェ

代表者職・氏名 代表 今村仁美

所在地

補助種別	☒ 単独事業補助 ☐ 団体協働事業補助	
新規・継続	☒ 新規	☐ 継続(年目)
事業名	みんなの推しスポットを募集して、戸田アート街歩き MAP を作ろう	
実施期間	令和7年 4 月 1 日 ~ 令和8 年 2 月 27 日	
確定前交付の希望	☐ 希望する	☒ 希望しない
申請中又は交付予定の他の補助制度	名称	
	実施主体	
連絡担当者	氏名	
	住所	
	電話	
	Fax	
	E-mail	

《団体の概要》

団体名	戸田マルシェ
ホームページ	https://todamarche.com/event/ https://stella-art.website/
設立年月日	2013 年 11 月 11 日 設立
会員数	9 人
年会費	0 円／1年間
団体の目的	戸田マルシェは、「戸田で遊ぼう！戸田に遊びに行こう！」を合言葉に、地域住民やクリエイター、店舗、企業をつなぐ場を創出し、街への愛着や文化の発展を目指す活動団体です。 作家・講師・地域で何かをやりたい人たちが活動できる場所を提供し、個人のスキルアップや商店との連携を通じて地域の魅力を高めることを目的としています。
主な活動実績	● アートむすび市事業 地域アーティストの活動支援や展示イベント、ワークショップの開催 「くらふとカーニバル」開催 戸田ボートコースを舞台に、大学生が実際にボートに乗り、戸田のレガッタ文化を肌で感じる体験イベントや、ものづくりをテーマにしたイベント。子どもから大人までが参加できる体験型ブースが多数出展し、街の文化的魅力を発信。 ● ステラアート事業 障害のある方の表現活動を紹介し、誰もがアートを通じてつながる場を創出 ● 地域イベント協力 学校・ふるさと祭り・企業イベントなどへの参加・応援を継続的に実施
昨年度の補助金等の援助状況	特になし

団体PRなど	戸田マルシェは、地域に根ざした「人と人をつなぐ場」として、創造・交流・学びを大切に活動しています。 体験型・参加型のコンテンツを通じて、子どもから大学生・大人まで、幅広い世代が戸田の魅力に触れる機会を生み出しています。 「街の魅力は、そこに暮らす人が作るもの」という信念のもと、出店者・地域住民・企業・行政と手を取り合いながら、戸田という街をもっと楽しく、もっと元気にしていく取り組みを今後も継続していきます。
---------------	--

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性

本事業は、戸田市民が「自分の街の魅力」を再発見し、共有・可視化することで地域への愛着を深め、街歩きを通じた健康増進や地域交流を促進することを目的としています。市民参加型で「推しスポット」を募り、アートとして表現することで、多様な視点から戸田の魅力を伝えることができます。

また、戸田市内の回遊性を高め、まちづくりや観光促進、商業活性化にも寄与することが期待されるため、本事業は地域の持続的発展に資する他、市民の地域に対する愛着を育む取り組みとして必要性が高いと考えます。

2 事業を実施するに当たっての現状や課題

現在、戸田市内には個性豊かなスポット（銅像、自然風景、店舗、公共アートなど）が点在しているにもかかわらず、それらを体系的にまとめた情報発信ツールが不足しています。また、市民一人ひとりが持つ「お気に入りの場所」が他者に知られる機会も限られており、地域資源の可視化と共有が課題となっています。

さらに、高齢化や運動不足が課題となる中、楽しみながら歩く動機づけとなるような「街歩きコンテンツ」の不足も挙げられます。

3 事業の具体的内容

1. 「あなたの戸田の推しスポットを教えて企画」(会場協力: ビーンズ戸田公園)

日程: 6月から7月

場所: ビーンズ戸田公園店内イベントスペース

対象: 市民

費用: 無料

周知: SNS(戸田マルシェ、他協力団体、市、ビーンズ戸田公園)、通りがかりの方

内容: 市民が自由に記入できるパネルや展示を設置し、戸田公園エリアの写真やコメントの募集を行う。

募集結果の中から、MAPに掲載する街中のアートの要素や人々の思い出スポットを当団体が選定する。

2. 「集めた推しスポットをもとに、イラスト制作ワークショップ」を開催

日程: 8月～10月

場所: ビーンズ戸田公園(戸田公園エリア)、CONEC TODA(戸田駅周辺エリア)、北戸田ウォークアブル実証実験(北戸田エリア)

対象: 市民

費用: 無料

講師:2名(アトリエにこり)が画材用意し参加者に描き方や手法をアドバイスする。

周知:SNS(戸田マルシェ、他協力団体、市、ビーンズ戸田公園)

内容:市民から募った推しスポットを、各自参加者が実際にイラストを描いたり、ポストカードサイズの画材に絵具、クレヨン、色鉛筆、カラーペン等で色を塗ったりするワークショップを開催

プロのイラストレーターや地域のアーティスト、子どもたちや障害のある方の参加も歓迎。

3.「ワークショップで描かれた作品をもとに「戸田アート街歩き MAP」を制作

- ・ 冊子版・WEB版(PDF・SNS等)として団体HPにて発信
- ・ 公共施設、駅、市内店舗などで配布

【今後の展開】

- ・ 翌年以降、MAPを使った実際の街歩きイベントを企画
- ・ 戸田公園エリアからスタートし、戸田、北戸田と3年間かけて拡大予定
- ・ 健康づくり(ウォーキング)・アート・地域活性の一体型事業として継続化を図る
- ・ 他団体との協働
- ・ アンケートをもとに、次年度以降の拡大版MAPの運営方法検討

4 事業の実施体制

- ・ **事業主催:**戸田マルシェ
- ・ **企画運営:**アートむすび実行委員会
- ・ **協力団体:**地元アーティスト、地域団体、
商業施設(ビーンズ戸田公園)、地元企業(さぼり場)、福祉関係団体など
- ・ **制作協力:**イラストレーター、デザイナー、SNS発信チーム

5 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
4 月～5 月	・準備期間(SNS 告知、協力団体への説明) ・ビーンズ戸田公園との調整、展示備品・ボード制作
6 月	・「あなたの戸田の推しスポットを教えて！」イベント実施(ビーンズ戸田公園) ・来場者からの投稿収集(目標 100 件)、整理・データ化
7 月～8 月	・投稿をもとに MAP に掲載するスポット選定 ・ワークショップ準備(講師・会場調整、参加者募集)
9 月～11 月	- イラストワークショップ実施(市内で計3回以上) ・MAP デザイン作業開始(投稿内容とイラストを統合)
12 月～2 月	・MAP 完成(印刷・PDF 作成) ・公共施設・協力店舗への配布、SNS 公開
～2 月 27 日	・次年度に向けての MAP 活用による自主企画(例:試験的な街歩きイベント)を検討 ・アンケート集計・事業効果測定 ・次年度以降の計画立案と協力者への報告 ・補助事業報告書の作成と提出

6 事業の成果目標(具体的数値を用いてください。)

- 市民参加数:延べ 300 人以上(掲示イベント 150 人、ワークショップ参加者 100 人、アンケート回答者 50 人)
- 「推しスポット」投稿数:100 件以上
- ワークショップ開催回数:3 回以上(市内で実施)
- 完成 MAP の配布部数:5,000 部以上(市内公共施設、協力店舗、イベント時など)
- SNS 等のオンラインリーチ数:延べ 3,000 アカウント以上(Instagram)

事業の振り返りと今後の企画運営の改善のため、ワークショップ参加者と MAP 閲覧者に対してアンケートを実施し、事業効果(街への関心や楽しさ、歩く意欲の変化など)を可視化します。アンケート結果は集計し、報告書に反映させます。

7 補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

- 地域企業・商店との連携による協賛獲得
街歩き MAP の協賛スペースを提供し、広告掲載料を収入源とすることで印刷費等をカバー。地元企業の PR にも貢献。
- MAP 活用イベント(街歩き・スタンプラリーなど)の実施と参加費収入
完成した MAP を活用したウォーキングイベントやスタンプラリーを実施し、参加費や協力団体からの支援を財源に充当。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	200,000	
	その他		
自己資金		70,222	
会費			
利用者負担金			
協賛金・寄附			
その他			
合 計		270,222	

【支出】

	科 目	予 算 額	内 訳	
補助 対象 経 費	謝礼金	90,000	講師謝金(2名) 3 回分 15,000 円 × 2 名 × 3 回 = 90,000 円	
	消耗品費	4,500	文房具、コピー代など	
	印刷製本費	56,980	B5 サイズ折パンフレット 5,000 部印刷(両面カラー)	
	原材料費	30,742	ワークショップ画材・材料費等	
	委託費	40,000	パネルデザイン、MAP デザイン	
小 計		199,999	内 訳	補助金申請額: 199,999 自主財源: 22,223
補助 対象 外 経 費	スタッフ人件費	48,000	8,000 円 × 2 名 × 3 回(補助対象外)	
小 計		48,000		
合 計		270,222		